

# 2015 年度事業報告書

特定非営利活動法人 ファミリーコミュニケーション・ラボ

## I 事業期間

2015 年 7 月 17 日～2015 年 12 月 31 日

## II 事業の成果

2008 年度から続けてきた活動を 今年度法人化しました。  
また、神奈川が新たに活動拠点に加わり、不登校児童生徒を持つ母親に接し方を伝え、その学びを通じてお互いに気持ちに寄り添いあうエンカウンター方式の活動は、広まりをみせました。  
HP よりダウンロード可能にしてあるリーフレット類も、对学校、对親戚に対する不登校の説明をスムーズにすることに役立つとともに、親の不登校理解にも役立ち、新たに不登校になった児童生徒の親に対して、その状況への混乱のないソフトランディングに役立っています。

## III 事業の実施状況

### (1) (事業名) 各支部傾聴サークル と ランチ会

(内 容) 傾聴サークルでは 不登校児童生徒を持つ母親を対象に、子どもへの接し方の基本として傾聴をトレーニングします。ランチ会は、相談先や医療機関、進学先などの情報交換の場の役割を果たします。各支部の申し込みは、毎回、参加受付後数日で定員 (20 名弱) となり、会場の増設の必要を感じています。又 東京には東北から。大阪へは中国、四国地方からの参加もあり、地方開催の必要性も感じています。

(実施場所) 大阪市天王寺区民センターをはじめとする各支部の最寄り施設の会議室。

(実施日時) 各支部とも 2 か月に 1 度

(事業の対象者) 不登校児童生徒を持つ母親

(収 入) ¥221,700

(支 出) ¥164,832

### (2) (事業名) 各支部の参加者が共に学び、親睦を深める事業

(内 容) 通常、掲示板で親睦を深めている仲間が、地方在住者も含め、年に一度集い、不登校に関連することを学び、後、フリートークで親睦を深める事業。  
日頃、家にいる子どもの相手をして、家から出ることが難しい母親の背中を少し押し、子離れと母親の自立、ストレスコントロールを目的とした事業である。

(実施場所) 東京ボランティア市民活動センター

(実施日時) 2015 年 11 月 22 日 13:30～17:00

(事業の対象者) 不登校児童生徒を持つ母親

(収 入) ¥110,000

(支 出) ¥57,880

#### IV 社員総会の開催状況

##### 第1回通常総会

(日 時) 2016年2月20日 10時から12時  
(場 所) YMCA アジア青少年センター  
(社員総数) 10名  
(出席者数) 10名 (うち委任状出席者2名、書面表決者0名)  
(内 容)

#### V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会の開催実績はありません。